

# 小川やすえ 県政レポート

Vol.3 2019年11月号

〒524-0033 守山市浮気町300-15 4-323 TEL:077-535-6885  
http://ogawayasue.net



10月30日、会派で大津駅前台風被災地支援の募金活動



10月17日宮城県議会へ



昨年8月、岡山県真備町へボランティアに

台風15号、19号、そして10月25日の大雨は、中部から関東・東北にかけて甚大な被害をもたらしました。被災されたみなさまにお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げます。一日も早い復旧、復興を心よりお祈りいたします。改めて、命と暮らしを守るために政治が果たすべき役割を追求していくことを誓いました。

健康医療福祉部長 ▼ ※収容数は下記表参照。

- 犬、猫、それぞれの収容数と譲渡数、致死処分数のこの5年間の推移
- 現在取り組んでいる終生飼育の啓発、地域猫の推進、譲渡数向上のための方策などの状況。

現在、日本における犬猫の飼養数は計1855万匹に達するとされ、「ペットパートナー」という考え方も定着。この6月には遺棄や動物虐待の厳罰化などを定めた改正動物愛護法が成立。また、「東京オリンピック・パラリンピック」、「大阪・関西万博」に向けて、動物愛護レベルを国際標準に引き上げるために、東京都、大阪府、市をはじめ、「殺処分0」を目標に掲げる自治体は40以上にのぼり、達成の報告も続々とあがってきている。以上の社会状況も踏まえて、問わせていただきました。

## 動物福祉政策の推進について



「動物福祉」「教員の働き方改革」の大きく2点について、知事、健康医療福祉部長、教育長に問いました。

## 9月定例会議一般質問

● 一項目・二項目共に政策集に「殺処分0」を掲げた知事の思いと決意。

知事 ▼ 「致死処分ゼロ」を目指すことを政策提案集に掲げ、当選後は「滋賀県動物愛護管理推進計画※以下推進計画」改定の際に「致死処分0」を明記した。「推進計画」に基づく取組を進め、収容数の減少と譲渡推進を図り、動物愛護の意識を社会全体に広げ、取組をさらに進める。

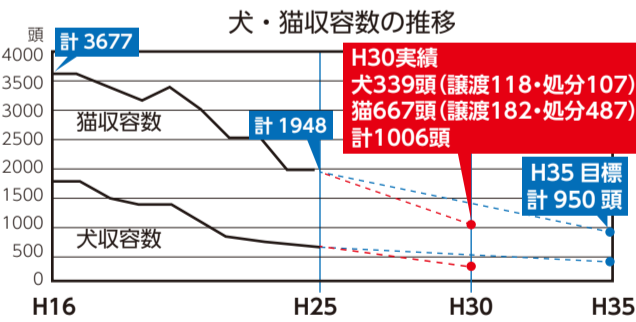
● 「推進計画」によるとH35の猫の譲渡目標は20%。H30に既に達成しており、そもそも致死処分ゼロ目標から見て低すぎる。猫の致死処分中75%が「離乳前の幼猫」という現状を見ると、ほ乳が必要な子猫を譲渡できるようにするまで一時的に預かって育てる「ミルクボランティア」制度の導入は必須だと指摘。当局からは「検討」という答弁でしたが、引き続き訴えます。

● 公共施設を活用しての屋内譲渡会の開催、また場の提供について、県としてもぜひ取り組んでほしいか。

部長 ▼ 現在保護管理センターでは譲渡可能な犬猫は全て譲渡できているが、高齢犬や仔猫引き取り集中時期など、譲渡まで時間がかかる場合もある。センター外での譲渡会は、有効ではあるが課題もある。検討していく。民間団体への場の提供に関しては、センターに相談があった場合には、丁寧に対応していく。

● 最近動物の問題、人間の問題と分けて考えているのは解決できない課題も顕在化。その大きなひとつが、ペットの犬や猫が繁殖し過ぎて世話ができなくなる「多頭飼育崩壊」だ。甲賀市では、課題の未然防止に向けた会議体「こうか人福祉・動物福祉 協働会議」が発足。参加者は、県動物保護管理センター、甲賀市の生活環境課、障がい福祉課、福祉医療政策課、地域包括支援センター、愛護団体、動物愛護推進員。わかりやすいフローチャート等を作成し、多頭飼育崩壊リスクが高い方に最初に接する、民生委員やケアマネ対象の講習会などにも取り組んでいる。大津市でも同様の取組みがスタート。一人暮らしの高齢者の増加が益々増えて行く中、多頭飼育崩壊の未然防止や、シルバー世代の適正飼育の啓発等のためにも、人間福祉のメニューの中に動物福祉の観点を盛り、部局横断的に情報を共有し協議する仕組みが必要だと考えるがいかがか。

H26年からH30までの5年間で、犬の致死処分数は86頭減少。猫の致死処分数は496頭減少。啓発として、正しい飼い方講習会、しつけ方教室等の開催、商業施設での動物愛護パネル展を実施。地域猫の推進では、「飼い主のいない猫対策にかかる活動補助金」を交付し不妊去勢手術を実施。今年度も現在5地域に補助。



● 先日調査に訪ねた郡山市保健所では、毎月ロビーで休日譲渡会を開催。県内でも甲賀市まちづくり活動センターで民間主催の譲渡会が開催された。ニーズは高いはず。ぜひ実現を重ねて訴えました。

● 最近動物の問題、人間の問題と分けて考えているのは解決できない課題も顕在化。その大きなひとつが、ペットの犬や猫が繁殖し過ぎて世話ができなくなる「多頭飼育崩壊」だ。甲賀市では、課題の未然防止に向けた会議体「こうか人福祉・動物福祉 協働会議」が発足。参加者は、県動物保護管理センター、甲賀市の生活環境課、障がい福祉課、福祉医療政策課、地域包括支援センター、愛護団体、動物愛護推進員。わかりやすいフローチャート等を作成し、多頭飼育崩壊リスクが高い方に最初に接する、民生委員やケアマネ対象の講習会などにも取り組んでいる。大津市でも同様の取組みがスタート。一人暮らしの高齢者の増加が益々増えて行く中、多頭飼育崩壊の未然防止や、シルバー世代の適正飼育の啓発等のためにも、人間福祉のメニューの中に動物福祉の観点を盛り、部局横断的に情報を共有し協議する仕組みが必要だと考えるがいかがか。

● 公共施設を活用しての屋内譲渡会の開催、また場の提供について、県としてもぜひ取り組んでほしいか。

部長 ▼ 現在保護管理センターでは譲渡可能な犬猫は全て譲渡できているが、高齢犬や仔猫引き取り集中時期など、譲渡まで時間がかかる場合もある。センター外での譲渡会は、有効ではあるが課題もある。検討していく。民間団体への場の提供に関しては、センターに相談があった場合には、丁寧に対応していく。

● 最近動物の問題、人間の問題と分けて考えているのは解決できない課題も顕在化。その大きなひとつが、ペットの犬や猫が繁殖し過ぎて世話ができなくなる「多頭飼育崩壊」だ。甲賀市では、課題の未然防止に向けた会議体「こうか人福祉・動物福祉 協働会議」が発足。参加者は、県動物保護管理センター、甲賀市の生活環境課、障がい福祉課、福祉医療政策課、地域包括支援センター、愛護団体、動物愛護推進員。わかりやすいフローチャート等を作成し、多頭飼育崩壊リスクが高い方に最初に接する、民生委員やケアマネ対象の講習会などにも取り組んでいる。大津市でも同様の取組みがスタート。一人暮らしの高齢者の増加が益々増えて行く中、多頭飼育崩壊の未然防止や、シルバー世代の適正飼育の啓発等のためにも、人間福祉のメニューの中に動物福祉の観点を盛り、部局横断的に情報を共有し協議する仕組みが必要だと考えるがいかがか。

● 先日調査に訪ねた郡山市保健所では、毎月ロビーで休日譲渡会を開催。県内でも甲賀市まちづくり活動センターで民間主催の譲渡会が開催された。ニーズは高いはず。ぜひ実現を重ねて訴えました。

郡山市保健所の譲渡会

9月定例会議一般質問

教員の働き方改革加速化を！



この6月、日本の小中学校教員の労働時間が経済協力開発機構(OECD)最長という調査結果が報告され、特に中学校において、部活や事務業務に費やす時間が加盟国中最長となる一方、職能開発の時間は最短という課題も顕著になった。2020年から順次、新学習指導要領がスタートするにあたり、教員の長時間労働を是正し、自身のスキルアップをはかり、子どもたちに向き合う時間を確保するための働き方改革は喫緊の課題という観点から、以下を質問しました。

●今年度からスタートした「学校における働き方改革取組計画」に基づく取組の現段階での進捗状況、見えて来た課題について伺う。

教育長 ▼スクールサポートスタッフの小中学校への配置は昨年度の49校71名から、今年度は93校96名に、部活動指導員の中学・高校への配置は、昨年度の20校24名から、今年度は59校69名に拡充。教員の勤務時間の削減に一定の効果が見られたが、適当な人材の確保が課題。

▼学校閉庁日は、昨年度の3日間の試行実施を踏まえて、今年度は15日間に拡大。

▼部活動における朝練の禁止や休養日の設定は、市町教育委員会や各学校で基準を設けている。引き続き保護者や地域の方々の理解と協力が得られるように周知を図っていく。

●抜本的な解決のためには、国の答申にもあるように「教員が担うべき仕事を明確にする」こと、つまり、「登下校対応」「休み時間対応」「校内清掃」「部活動」などへの「業務仕分け」が必要ではないか。

教育長 ▼国の方針に従い、学校における働き方改革の加速化に向け、計画の改訂を視野に入れ、現在、検討をしている。

●先日行財政・働き方改革特別委員会の県内調査でたずねた中学校でも、半数が過労死ラインの月80時間超過勤務をこえているという実態を目的の当たりにした。国のガイドラインで上限規定が明確化されたが、罰則がないため実効性には疑問が残る。このような労働環境の中、心身疾患に陥る教員も少なくなることが推察され教員の休職者の状況、またメンタルケアの相談体制について



中学校で先生や生徒にヒアリング

教育長 ▼平成30年度教員の病気休職者84人のうち精神疾患休職者は62人と、休職者の約7割を占めている。相談体制は精神科医および臨床心理士による相談を、それぞれ月2回実施し、産業界および保健師による相談を随時受け付けている。また、公立学校共済組合が実施している、精神科医や臨床心理士等によるメンタル相談について周知をしている。

●長時間労働をはじめとする教員の労働環境の現状は、教員志望者の減少にもつながり、結果として教育の質の低下を招くことが懸念されています。今回の計画の改訂の推移を引き続き注視してまいります！

滋賀県議会11月定例会議

(11/28(木)~12/23(金))

12/3(火)13:00頃より  
会派の代表質問に  
小川やすえが登壇します  
ぜひ傍聴にお越し下さい！



- ・県議会HPよりネット中継もあり
- ・当日22:00よりBBCのダイジェストも!!



★手話通訳の配置も可能(要事前申込、HP参照)

女性議員ネットワーク



女性議員ネットワークの研修で明石市へ。不要不急のハード事業を排し、「子ども」に予算を投下。人口増、税収増、基金(貯金)増、借金減とまちの好循環を実現。「里親課」「ひきこもり相談支援課」を設置し、子ども食堂を支援し全小学校区に。「西日本子ども研修センターあかし」を立ち上げ、児童福祉の人材育成にも独自で取り組んでいます。泉市長の熱意と本気度に圧倒されながら、政治の力でここまでできるんだ、と感動しました。



初めての県政報告会を開催しました！



◀パワーポイントも使い県政報告



◀三日月知事との質疑応答の様子

9月22日(日)、ライズヴィル都賀山にて、宮本市長、三日月知事、嘉田参議院議員も駆けつけて下さり、県政報告会を開催させていただきました。たくさんの方にご参加いただき、本当にありがとうございました!!

守山市市政功労者表彰



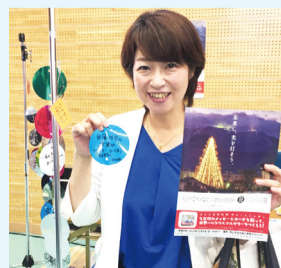
県議を代表して祝辞を述べさせていただきました。市議時代大変お世話になり今回表彰された奥野前市議にお声かけ頂き記念撮影。みなさま、本当におめでとうございます！

活動アルバム

地域の行事におじゃまして、たくさんの方と出会い、お話をうかがわせていただきました！



東京オリパラのホストタウンになっているトルコの文化に触れて。トルコスイーツの美味しさに感激!!



ギネスに挑戦！中州ふれあいの灯のメッセージカード。台風被害地域の日も早い復興を願いました。



陽なた村秋フェスタで、守山のホタルの妖精もーりーと。「守山女性サミット」を開催したメンバーで久々に出会い、積もる話に花が咲きました(^^)



「吉身学区福祉の心を育てるつどい」で、「びわこみみの里」さんの聴導犬ポッキーくんのお手伝い。



下之郷遺跡まつり。CSF(豚コレラ)の影響で、しし鍋が豚汁に。思わぬところで県政課題を実感。



各学区の「学区民のつどい」にお招きいただき、たくさんの方とお会いし、民生児童委員のこと、看取りの場所や、生きにくさを持つ若者たちのことなど、様々な意見交換もさせていただきました。ありがとうございました！